

EP8000 HWMC-CR1 HWMC コード V10

変更内容と来歴

	変更内容
V10R3M1062.2	<ul style="list-style-type: none"> •以下の機能/パネルのユーザー操作性を改善します。 〈HMC 管理〉 <ul style="list-style-type: none"> - 変換された HMC ネットワーク設定パネル。HMC ネットワーク設定構成のための REST API サポート。 - フォーマット メディアの新しいユーザー エクスペリエンス。 - サードパーティの新しいビューと追加のライセンス契約。 - HMC 証明書管理パネルおよび証明書失効リスト・パネルの変換。 - HMC ファイアウォールから redfish.event を削除する機能が追加されました。redfish.event は、eBMC ベースの管理対象システムからイベントを受信するために使用され、HMC がそれらのシステムを正常に管理するために必要なため、redfish.event は、eBMC ベースの管理対象システムがそのインターフェースに接続されていない場合にのみ、そのインターフェースのファイアウォールから削除する必要があります。 〈システム管理〉 <ul style="list-style-type: none"> - プロファイルデータをバックアップ、復元、および削除するオプションを備えたバックアッププロファイルデータの新しいダッシュボード。 - Initialize と Recover の新しいユーザー エクスペリエンス。 〈スケジュール管理〉 <ul style="list-style-type: none"> - システム、区画、バーチャル I/O サーバー、および管理コンソールのスケジュールされた操作を作成および削除するオプションを備えた、スケジュールされた操作の新しいダッシュボード。 新しいスケジュールされた運用ダッシュボードを起動するには、新しい GUI の左側のナビゲーション領域で「Schedule management」をクリックします。注: 新しい GUI のすべてのアクション・メニューの「Schedule operations」タスクは、古い「Schedule operations」GUI を起動します。これらのタスクは、将来の PTF では、新しい GUI 上のすべてのアクション・メニューから除去される予定です。 〈パーティション/VIOS 管理〉 <ul style="list-style-type: none"> - 区画および VIOS のシャットダウン、再始動、および削除操作の新しいユーザー・エクスペリエンス。 - VIOS イメージ管理の新しいユーザー・エクスペリエンス。タスクを開始するには、新規 GUI の左側のナビゲーション領域で「VIOS Images」をクリックします。 - ボリューム・グループ、仮想メディア・ライブラリー、論理ボリューム、仮想 SCSI および仮想ファイバー・チャンネル・アダプター、および VIOS のファイバー・チャンネル・ポート管理に関する新しいユーザー・エクスペリエンス。これらのタスクは、選択した VIOS の左側のナビゲーション領域で使用可能です。 •新しい Resource role GUI に、Resource role の 1 つに空のリソース リストがある場合に、リソース ロールが表示されない可能性がある問題を修正しました。 •GUI ダッシュボードおよび GUI ログイン画面に表示されるサービス可能イベントの数が、「サービス管理」-> サービス可能イベント GUI ビューに表示されるサービス可能イベントの実推数と異なる可能性があるまれな問題を修正しました。 •eBMC ベースの管理下システムでサービスプロセッサダンプでメモリ不足状態を引き起こす可能性がある問題を修正しました。 •HMC の再始動後に physical I/O アダプターの説明およびフィーチャー・コードが正しくないか欠落する原因となる可能性があるタイミングの問題を修正しました。 •新しい Resource roles GUI にリソースロールが表示されない一時的な問題を修正しました。 •新しい GUI でパーティションプロパティを表示しようとする、次のメッセージが表示されるというまれな問題を修正しました: Cannot invoke "java.util.List.isEmpty()" because "systemTypes" is null. •ローカル HMC コンソール GUI のパフォーマンスが改善され、特にサーバーおよび lpar の管理と R&V 操作において、全体的なナビゲーションに影響を与えました。 •新しい GUI または REST API から HMC 再始動またはシャットダウン操作が実行されるときのコソール・イベント・ログに項目を追加しました。 •SSH 経由で HMC にログインするユーザーの IP アドレスのロギングを rsyslog サーバーに追加しました。 •一時的な自己署名証明書を作成せずに CSR を作成する際に、新しい HMC 証明書作成パネルの「Create and restart」ボタンの名前を「Create」に変更しました。 •新しい GUI システム・ファームウェアの更新ウィザードの「Choose firmware type and target level」ページの「View details」ページに表示される情報を修正しました。 •新しいアップデート I/O ファームウェア GUI が拡張され、アップデートの進行中にすべてのアップデートが 1 つのページに表示されるようになりました。 •新しい GUI の [Add system] ページで入力された一部の有効な IP アドレス範囲に対して、「Beginning

IP address is greater than Ending IP address」というエラーが誤って表示される可能性がある検証の問題を修正しました。

- ・指定された SFTP サーバーに到達できない場合に、chhmccert コマンドが次の誤ったエラーメッセージを返す問題を修正しました:
HSCL8016 An unknown error occurred while trying to perform this command. Retry the command. If the error persists, contact your software support representative.
- ・新しい GUI で、HMC の証明書署名要求を作成するときに IP アドレス・フィールドがブランクのままにならない問題を修正しました。
- ・新しい GUI で、テーブル内のデータが更新されるたびに、サイズ変更されたテーブル列が既定のサイズに自動的にリセットされる問題を修正しました。
- ・新しい GUI で、テーブル内のデータが更新されるたびにテーブルの並べ替えがリセットされる問題を修正しました。
- ・更新が進行中でないにもかかわらず、新しい GUI でファームウェアの更新操作が失敗し、”Updates already in progress, try again later.”というエラーが表示される可能性がある問題を修正しました。
- ・障害が発生していないにもかかわらず、eBMC ベースの管理下システムのシステムダンプ取得失敗について、SRC B3036602 が誤って報告される可能性がある問題を修正しました。
- ・SRC E212E134 が通知され、Mailler 接続によってメッセージが syslog に記録されることを拒否される可能性がある問題を修正しました。
- ・サイトのローカル IP アドレスを使用した HMC 間通信の問題が原因で、SRC E3321032 が通報される可能性がある問題を修正しました。
- ・新しい GUI を使用して区画プロファイルを編集するときに「Processor」ページが最初に表示されたときに、エラーがないにもかかわらず、次のエラー・メッセージが表示される可能性がある問題を修正しました。
”Provide a valid minimum or desired or maximum processor units. Minimum shared and desired shared processing units should be less than maximum shared processing units”
- ・VMI ネットワーク設定がクリアされた後、接続なし状態の eBMC ベースのシステムの状態が空白になる可能性がある問題を修正しました。
- ・AIX Update Access Key (UAK) が自動的に更新されないことがある問題を修正しました。
- ・ネットワークボンディングインターフェイスのファイアウォールエントリが重複する原因となっていた問題を修正しました。
- ・システム ダッシュボード テーブルの [System name] 列のテキストが、列のサイズを大きく変更しても折り返されたままになる問題を修正しました。
- ・プロファイル内の仮想イーサネット・トランク・アダプターの追加 VLAN 構成が変更された後、プロファイルを持つ VIOS のアクティブ化が、次のエラーで誤って失敗する問題を修正しました:
”HSCL1520 The virtual Ethernet trunk adapter cannot be created because another trunk adapter with the same port VLAN ID and an incompatible additional VLAN configuration already exists. Trunk adapters with the same port VLAN ID must participate on all of the same additional VLANs or must not participate on any of the same additional VLANs.”
- ・HMC のアップグレード後に HMC タイム・ゾーンが UTC に変更される問題を修正しました。
- ・eBMC ベースの管理下システムで「updic -o v -m [system]」コマンドが誤って失敗し、次のエラーが発生する問題を修正しました。
”The command entered is either missing a required parameter or a parameter value is invalid. The parameters that are missing or have an invalid value are -t. Please check your entry and retry the command.”
- ・システム ファームウェアの更新操作が次のエラーで失敗する問題を修正しました:
”HSCF0180E Operation failed for <system>. An error occurred while trying to copy a file from /data/sfp/updates/<system mtms>/<firmware>.rpm to /data/sfp/updates/.”
この障害は、1061 より前のバージョンの HMC を使用して最初にインポートされた、HMC ハード・ディスク・リポジトリに既に存在するシステム・ファームウェアをインポートするときに発生します。
- ・一部の SFTP サーバーでの SFTP 操作がエラーで失敗する問題を修正しました。
”HSCLA500 An internal error occurred. Try the operation again. If the operation continues to fail, contact your service representative.”
- ・非常に多数の HMC ログイン後に HMC で発生する可能性のあるメモリー不足状態が原因で SRC E355004D が報告される問題を修正しました。
- ・ブラウザの言語が日本語に設定されている場合に、テキストと一部のメニュー項目が新しい GUI から欠落する問題を修正しました。
- ・「Organization」または「Organization unit」フィールドにコンマがある場合に、新しい GUI からの HMC 証明書の作成または編集が次のエラーで失敗する問題を修正しました:
”The format of the configuration data is invalid...”
- ・マウスを table の上に置いたときに、[Processor, memory, I/O] ページの [Physical I/O Adapters] テーブルに水平スクロール バーが表示されない問題を修正しました。
- ・古いブラウザキャッシュにより、GUI に空白の画面が表示される問題を修正しました。
- ・ファームウェアをアクティブ化する前にシステム ファームウェアの更新操作が失敗した後、次の同時更新が同時であるにもかかわらず、中断を伴うことが示される可能性がある問題を修正しました。
- ・新しい GUI Backup VIOS スケジュール操作で、NIMOL リソース、メディア・リポジトリ・コンテンツ、およびボリューム・グループ構造が選択されていない場合は含まれ、選択時には含まれない問題を修正しまし

た。

- eBMC ベースのシステムでの HMC と VMI 間の接続障害の処理方法が改善されました。
- インターフェイスの VMI ネットワーク設定をクリアした後、他の VMI インターフェイスへのアクティブなネットワーク接続があるにもかかわらず、管理下システムが [No Connection] 状態のままになる場合がある問題を修正しました。
- 区画サービス可能イベントの処理を、常に個別に報告するように変更しました。
- 仮想メディア名に次の特殊文字を含めることができないという新しい GUI の制限を削除しました: ""-_"他のすべての特殊文字の制限を追加しました。
- [actions] メニューから ""Label.ManageBackupProfileReact"" というテキストを削除しました。
- eBMC ベースの管理対象システムが HMC に接続されているにもかかわらず、HMC の再始動後または VMI 構成の変更後に「No Connection」状態のままになる可能性がある問題を修正しました。[No Connection] 状態の詳細が表示されます。
""HSCLO25D Service processor command GET_HYPERVISOR_CONFIG_STATE_AND_POWER_POLICY failed. The Hypervisor is not ready to accept commands""
- Save HMC upgrade data などの GUI HMC 管理タスクの SFTP パスワードの「&」文字を制限する変更を元に戻しました。
- HMC ログイン要求またはログオフ要求が同時に発生している場合に、管理コンソール REST GET 呼び出しが HTTP 500 エラーで失敗する可能性があるタイミングの問題を修正しました。
- 管理対象システムに区画がない場合に表示される diagsmc からの誤った警告メッセージを抑制しました。
""WARN: An internal error occurred in RMCKey while trying to perform this command. Retry the command. If the error persists, contact your software support representative.""
- ケーブル詳細の表示をサポートしていない PCIe リンクの PCI 設定 GUI ページでケーブル詳細を表示しようとしたときに表示されるエラーメッセージを変更しました。この変更により、一般的なエラー メッセージ ""Error retrieving PCIe topology data"" の代わりに詳細なメッセージが表示されます。
- 新しい GUI で空白の画面、または古い GUI で ""Unable to access repository or no images available."" というエラーでシステムファームウェアの更新操作が失敗する可能性がある問題を修正しました。この問題により、updlic コマンドがエラー ""HSCF0034E Unable to log into the FTP / Secure FTP site using the specified login credentials."" で失敗する可能性もあります。この問題は、ファームウェア更新プログラムのソースファイルが SFTP サーバーにあり、SFTP サーバーのパスワードに特殊文字が含まれている場合に発生します。
- 「Manage Virtual Storage」タスクを古いダッシュボードに追加しました。「Manage Virtual Storage」タスクを起動するには、「All Virtual I/O Servers」ビューで Virtual I/O Server を選択し、「Actions > View All Actions > Manage Virtual Storage」をクリックします。
- 新しい GUI のすべてのアクションメニューから Schedule operations タスクを削除しました。schedule operations ダッシュボードを起動するには、新 GUI の左側のナビゲーションエリアにある「Schedule management」をクリックします。
- HMC GUI の SSH トンネリングをサポートします。
- RMC のネットワーク アドレス変換 (NAT) ファイアウォール構成をサポートします。
- 既定の LPM NPIV 検証ポリシーが LUN レベルの検証に変更され、この既定値を変更するための新しいサーバー レベルの設定が追加されました。
- 個別のコマンド シェルで実行する場合のコマンド ラインからのシステム ファームウェア更新操作の並列サポートします。
- 失敗した更新またはシステム ファームウェアのアップグレードの再開をサポートします。
- パーティションの削除タスクのログエントリにパーティション名を追加しました。
- [Add system] > [Find managed system] GUI を修正し、2 番目または 3 番目のオクテットに 0 を含む IPv4 アドレスを許可しました。
- 指定した場所に I/O ファームウェア更新ファイルが見つからないために I/O ファームウェアの更新操作が失敗した場合に返されるエラーメッセージを修正しました。
- 「chhmc -c syslog」コマンドが、指定されたホスト名にスペースが含まれている場合にエラーで失敗するように拡張されました。
- Partition Profiles > Virtual NIC > Edit VNIC > Backing devices テーブルの列およびドロップダウン・リストの幅を拡張しました。
- 新しい HMC ユーザー名にダッシュ (-) を含めることができない GUI 検証の問題を修正しました。
- eBMC ベースの管理下システムのシステムファームウェアアップデートが ""HSCF0319E An error occurred while attempting to swap the service processor temporary and permanent sides."" というエラーで失敗する可能性があるまれな問題を修正しました。
- 管理対象システムに接続されている他の HMC で Initialize system タスクが実行された後に、管理対象システムが Incomplete 状態に移行するというまれな問題を修正しました。
- HMC の再始動後に、eBMC ベースの管理対象システムの VMI インターフェイスの 1 つについて、HMC から VMI 情報が欠落する可能性があるまれなタイミングの問題を修正しました。
- HMC から eBMC への接続はあるが VMI への接続がない場合に、eBMC ベースの管理対象システムでダンプ機能が機能しない問題を修正しました。
- VIOS に多数のディスクがある場合に、GUI 「VIOS Validate Maintenance Readiness and Prepare」パネルの起動時に通信の問題が発生する可能性がある問題を修正しました。
- デプロイ操作で NIM を使用して 1 つ以上のバーチャル I/O サーバーをインストールすると、デプロイ・システム・テンプレート操作がハングし、SRC E35A0063 が報告される可能性がある問題を修正しました。

- ・ネットワーク内の別の HMC のホスト名が変更されたときに SRC E3325009 が報告される可能性がある問題を修正しました。
- ・BMC credentials チェック中に HMC が in-band BMC と通信できない場合に SRC E3551234 が報告される可能性がある問題を修正しました。
- ・システムのシステム GUI で使用可能な [System actions] メニューからファームウェア アクションのいずれかを起動すると、GUI で空白のページが起動する可能性がある問題を修正しました。
- ・単一の全リソース区画プロファイルを持つサーバーに接続するときに、HMC が一時的に「Incomplete」状態を示すことがある問題を修正しました。
- ・先頭にスペースがあるファイル名を持つユーザーが作成したプロファイル・データ・バックアップ・ファイルが原因でアップグレード区画がいっぱいになっているために、HMC アップグレード・データの保管タスクが失敗する可能性がある問題を修正しました。
- ・[Partition Profiles > Virtual NIC > Edit VNIC > Backing devices]表に間違ったホスティング・パーティションが表示される可能性がある問題を修正しました。
- ・特にシステムファームウェアの更新操作を実行するときに、GUI ウィンドウが断続的に空白になる可能性がある問題を修正しました。
- ・hmcviewer タスク・ロールを持つ HMC ユーザーが GUI ダッシュボードの「Quick links」の下にある「Serviceable events」リンクをクリックすると、SRC E3550046 が報告され、タスク・エラーが発生する問題を修正しました。
- ・host コマンドがセグメンテーション違反で失敗する原因となっていた問題を修正しました。
- ・システムが大きなページメモリに対応している場合でも、「The system is not capable of Huge Page Memory.」というメッセージが、詳細設定の Partition Memory GUI に常に表示される問題を修正しました。
- ・無効なタスクが指定されていない場合に、既存の HMC user task role の変更が「HSCL350E Input error: An invalid task has been specified.」で失敗する問題を修正しました。
- ・管理対象システムの Update Access Keys (UAKs) の自動更新で、自動更新プロセスが実行されるたびに 1 つの管理対象システムの UAK のみが更新される問題を修正しました。
- ・システムプロファイルが存在する場合に GUI に空白のシステムプロファイルページが表示される問題を修正しました。
- ・「chsv -http」または「--socks」パラメーターで指定されたプロキシ URI に含まれるパスワードがコンソール イベント ログに表示され、クリア テキストでログに記録される問題を修正しました。この問題は、プロキシ URI で指定されたユーザー ID に '@' 文字が含まれている場合にのみ発生します。
- ・eBMC ベースの管理対象システムの物理アテンション LED 状態の変更が、別の HMC またはシステム自体によって開始されたときに、HMC GUI に反映されない問題を修正しました。
- ・custom task role を持つユーザーが新しい GUI を使用してシステムの電源をオンにできない問題を修正しました。
- ・新しい GUI の「タグ」ビューの「Systems, Partitions, and VIOS」テーブルからタスクを起動できない問題を修正しました。
- ・非アクティブなパーティションのハードウェア検出を使用してシステムプランを作成すると、現有パーティション構成が発生し、プロファイルの同期が有効になっている場合、最後にアクティブ化されたプロファイルが非アクティブなパーティションのデフォルトプロファイルによって上書きされる問題を修正しました。この問題は、最後にアクティブ化されたプロファイルとデフォルトのプロファイルが異なる非アクティブなパーティションでのみ発生します。
- ・GUI VIOS 仮想 SCSI アダプターの作成タスクまたは仮想ファイバー・チャネル・アダプターの作成タスクを使用してクライアント・アダプターを作成すると、クライアント区画の最後にアクティブ化されたプロファイルに加えられた、まだ同期されていない最近の変更が上書きされる問題を修正しました。これらのタスクは、クライアント区画の最後に活動化されたプロファイルが同期中断状態になるとブロックされるようになりました。これらのタスクのブロックを解除するには、クライアント区画の最後に活動化されたプロファイルを適用または活動化する必要があります。
- ・GUI Capacity on Demand アクティベーションコードの適用タスクが、実際にアクティベーションコードを適用せずに 2 時間後にタイムアウトする可能性がある問題を修正しました。この問題は、適用されているアクティベーションコードにユーザーの確認が必要な場合にのみ発生します。
- ・パーティションの remote restart 操作が、宛先管理対象システムでパーティションのストレージアダプターを構成せずに正常に完了する別の問題を修正しました。この問題は、出典管理下システムが、接続なし状態の eBMC ベースの管理下システムである場合に発生します。
- ・パーティションがクエリ関数をサポートしていない場合に、「lshwres -r mem --level lpar --stat」コマンドによって返されるエラーメッセージを改善しました。
- ・-d パラメーターで指定されたディレクトリが '/' で終わっていない場合に、chmccert コマンドが「ファイルが見つかりません」エラーで失敗する問題を修正しました。
- ・recover profile data タスクが partition Platform KeyStore (PKS) のリストアに常に失敗する原因となっていた問題を修正しました。
- ・partition migration の編集 MSP マッピング GUI での冗長 MSP の選択方法を再設計しました。また、[Edit MSP mappings] ページに [reset all configured MSP mappings] ボタンを追加して、構成されているすべての MSP マッピングをリセットします。
- ・アプリケーション関連ファイルのアクセス許可を更新しました。
- ・Apache HTTP Server の脆弱性を修正しました: CVE-2023-38709、CVE-2023-45802、CVE-2024-38473、CVE-2024-38474、CVE-2024-38475、CVE-2024-38477、および CVE-2024-39573

	<ul style="list-style-type: none"> •Apache Tomcat の脆弱性を修正しました:CVE-2025-24813、CVE-2024-52317、および CVE-2024-52318 •Bootstrap の脆弱性を修正しました:CVE-2024-6531 •bzip2 の脆弱性を修正しました:CVE-2019-12900 •expat の脆弱性を修正しました:CVE-2024-8176、および CVE-2024-50602 •FreeType の脆弱性を修正しました:CVE-2025-27363 •glib2 の脆弱性を修正しました:CVE-2024-52533 •HMC code 固有の脆弱性を修正しました:CVE-2025-4373 •Java の脆弱性を修正しました:CVE-2025-1950、CVE-2025-1951、および CVE-2025-21587、CVE-2025-30698、CVE-2025-2900、CVE-2024-10917、CVE-2024-21217、CVE-2024-21208、CVE-2024-21131、および CVE-2024-21145 •Kerberos の脆弱性を修正しました:CVE-2024-37370、および CVE-2024-37371 •less の脆弱性を修正しました:CVE-2024-32487 •libndp の脆弱性を修正しました:CVE-2024-5564 •libsoup の脆弱性を修正しました:CVE-2025-2784、CVE-2025-4948、CVE-2025-32049、CVE-2025-32914、CVE-2025-32050、CVE-2025-32052、CVE-2025-32053、CVE-2025-32906、CVE-2025-32911、CVE-2025-32913、CVE-2025-46420、CVE-2025-46421、および CVE-2024-52531 •libssh の脆弱性を修正しました:CVE-2023-6004、および CVE-2023-6918 •libxml2 の脆弱性を修正しました:CVE-2025-32414、CVE-2025-6021、CVE-2025-49794、CVE-2025-49796、CVE-2024-56171、CVE-2025-24928、および CVE-2024-25062 •libxslt の脆弱性を修正しました:CVE-2023-40403 •linux-firmware の脆弱性を修正しました:CVE-2022-46329、CVE-2023-20592、CVE-2023-31346、CVE-2023-20584、CVE-2023-31315、および CVE-2023-31356 •nghttp2 の脆弱性を修正しました:CVE-2024-28182 •openssh の脆弱性を修正しました:CVE-2020-15778 •OpenSSL の脆弱性を修正しました:CVE-2024-5535 •pam の脆弱性を修正しました:CVE-2025-6020 •sudo の脆弱性を修正しました:CVE-2025-32462 •CWE-35: 静的ファイルのパストラバーサルを対処しました。 •CWE-79: 格納されたペイロードデータの入力の不適切な中立化（「クロスサイトスクリプティング」）を対処しました。 •CWE-89: ログイン前モニター URL の SQL コマンド（'SQL インジェクション'）で使用される特殊要素の不適切な中立化を対処しました。 •CWE-532: ログファイルへの固有情報の挿入を対処しました。 •CWE-548: ディレクトリー覧の漏洩を対処しました。 •CWE-732: HMC 上の一部のファイルに対する誤った許可割り当てを対処しました。
V10R3M1060.3	<p>HWMC-CR1 向けに HWMC コード V10 を新規リリース サポートする対象管理サーバは、Power9 のみ。</p>

株式会社 日立製作所 マネージド&プラットフォームサービス事業部 2026年3月

(c) Hitachi, Ltd. 2026, All rights reserved.